

福祉読本 ともにいきる



「福祉読本 ともにいきる」の特徴

- “知る”、“気づく”、そして“考えるきっかけ”となる教材
- だれにとっても読みやすく、見やすいデザインレイアウト
 - 主に小学校高学年から中学生を対象に、おとなも子どもも学ぶきっかけとなる内容
 - 「教材（冊子）」と「動画」の二つのコンテンツ
 - 電子書籍版でタブレット学習にも活用

※裏面QRコードよりダウンロードできます。

福祉読本の内容

教材（冊子）

鉛筆マークのある箇所はワークシートです。
考えを深めるのにご活用ください。

（バリアについて考えてみよう）

どこに「バリア」はあるのかな？

自分の身の回りを見渡して、「バリア」を考える

【バリア】とは、社会のさまざまな場面で生活の不便さや生きづらさを感じさせる「障壁（=かべ）」のことを指します。心身に障害のある人や、ケガや病気で体が不自由な人だけでなく、国籍や言語、出身地が異なる人、性別にかかわらず、あらゆる人にとって生じる問題です。

なぜ、バリアは生まれてしまうのでしょうか？社会には多様な人がいるにもかかわらず、多数の人々に合わせて社会環境をつくった結果が表れたものだと考えられます。

なかでも、心身に障害がある人の「バリア」を社会全体の問題としてとらえ、社会で取り除くべきだとする考え方を「障害の社会モデル」と言います。こうした考えをもとに、自分の身の回りでも「バリア」はないか、探してみましよう。

身近な「バリア」を考える

一人ひとりの行動や、環境を整えることで、解決できるバリアはたくさんあります。人に、どんなことでバリアを感じるのかは異なります。あなたにも、他人とは違うと感じることはありますか。まずはまわりの人と2つのポイントを考えてみましょう。

1 身の回りのバリアに気づく

自分はもちろん、いろいろな場面や人を想像し、どんなことがバリアになるのか考えましよう。

2 バリアを解消する行 **3 バリアを解消する行** **4 バリアを解消する行** **5 バリアを解消する行**

気づいたバリアを取り除くため、どんなことができるでしょうか。

社会にある「4つのバリア」

障害のある人が直面する「バリア」は、大きく4つに分けられます。心身に障害のある人だけでなく、高齢者、妊娠中の女性、小さな子どもを連れている人、海外からの旅行者など、いろいろな人に起こりうる可能性があります。4つのバリアから、どんな場面が想像できるでしょうか。

物理的なバリア

電車やバスなどの公共交通機関、道路、建物などにおいて、利用者に移動の困難をもたらすバリアのことを言います。

建物の出入口に階段しかない、車椅子利用者にとっては、建物に入るのが困難。



制度的なバリア

社会のルールや制度によって、障害のある人が能力以前の段階で機会の均等をうばわれているバリアのことを言います。

資格試験に当たり点字受験を求めたが、前例がないことを理由に断られた。



文化・情報面でのバリア

情報の伝え方が不十分であるために、必要な情報が平等に得られないバリアのことを言います。

電車内のお知らせが音声アナウンスのみ。



意識上のバリア

誤った認識による心ない言葉、差別、無関心など、障害のある人を受け入れないバリアのことを言います。

点字ブロックの上に立ったり、自転車や物を置いたりする。



4つのバリア

記載の二次元バーコードから「学習動画」へアクセスします。

29 ページ

動画

学習動画は、教材と連動させており、さらに詳しく掘り下げた内容で学習を深められるようにしています。それぞれ約3～9分、計5本の動画です。

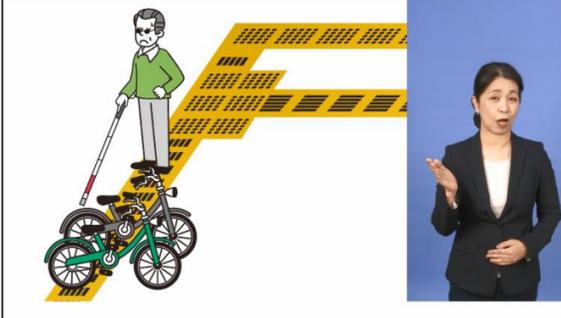
動画① 「まちを観察してみよう」何に困っているのかな？ 視聴時間 約3分

動画② 「スポーツの楽しみは無限大」近藤寛子さんにインタビュー 視聴時間 約9分

動画③ どこに「バリア」はあるのかな？身近な「バリア」を考えてみよう 視聴時間 約5分

動画④ 「バリアを取り除く」身近なものを見てみよう 視聴時間 約5分

動画⑤ 「わたしたちにできること」まずは声かけから始めよう 視聴時間 約7分



この人はなぜ困っているのでしょうか？
(手話・字幕つき)

合計 約30分

【問い合わせ】

2023年3月発行
編集・発行：滋賀県健康福祉政策課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号
TEL 077-528-3512
FAX 077-528-4850
メールアドレス ea00@pref.shiga.lg.jp

●滋賀県HPに掲載中

滋賀県 ともにいきる

